

実践研究福井ラウンドテーブル 2026 Spring Sessions  
2月21日（土）8:40-11:00 Session I 教職大学院改革特別フォーラム  
（オンライン）

多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成をいかに加速するか  
～大学・研修機関のこれからの役割～

現在、中央教育審議会・教員養成部会では、子どもたちが主体的・対話的で深い学びを通じて、これからの VUCA ワールド、ウェルビーイング社会の中で、自らの人生を舵取りする力を育み、主体的で持続可能な社会の創り手となっていくのを支えていく「多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成を加速するための方策」の議論を進めています。そこで本フォーラムでは、同部会及びワーキンググループで進めている議論の動向を確認、共有した上で、教員養成における“養成観の転換”にチャレンジしてきた福井大学の実践を事例として紹介します。そして、先行して進んできた“研修観の転換”の窓から現在の議論と福井大学の事例はどのように見えるのかを共有し、「多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成を加速するため」の大学・研修機関のこれからの役割を探っていきます。

アジェンダ

1. イントロダクション（趣旨説明） 福井大学 木村優
2. 教員養成部会の議論の紹介：論点整理と現在の検討状況 文科省教員養成室 若林徹 室長
3. 福井大学における“養成観の転換”に向けた歩みと挑戦 福井大学 遠藤貴広・木村優
4. “研修観の転換”の窓から議論・実践はどう見えるか？ 教職員支援機構 荒瀬克己 理事長
5. ディスカッション

司会 福井大学 中森一郎